

都市再生整備計画 事後評価シート
大野北地区

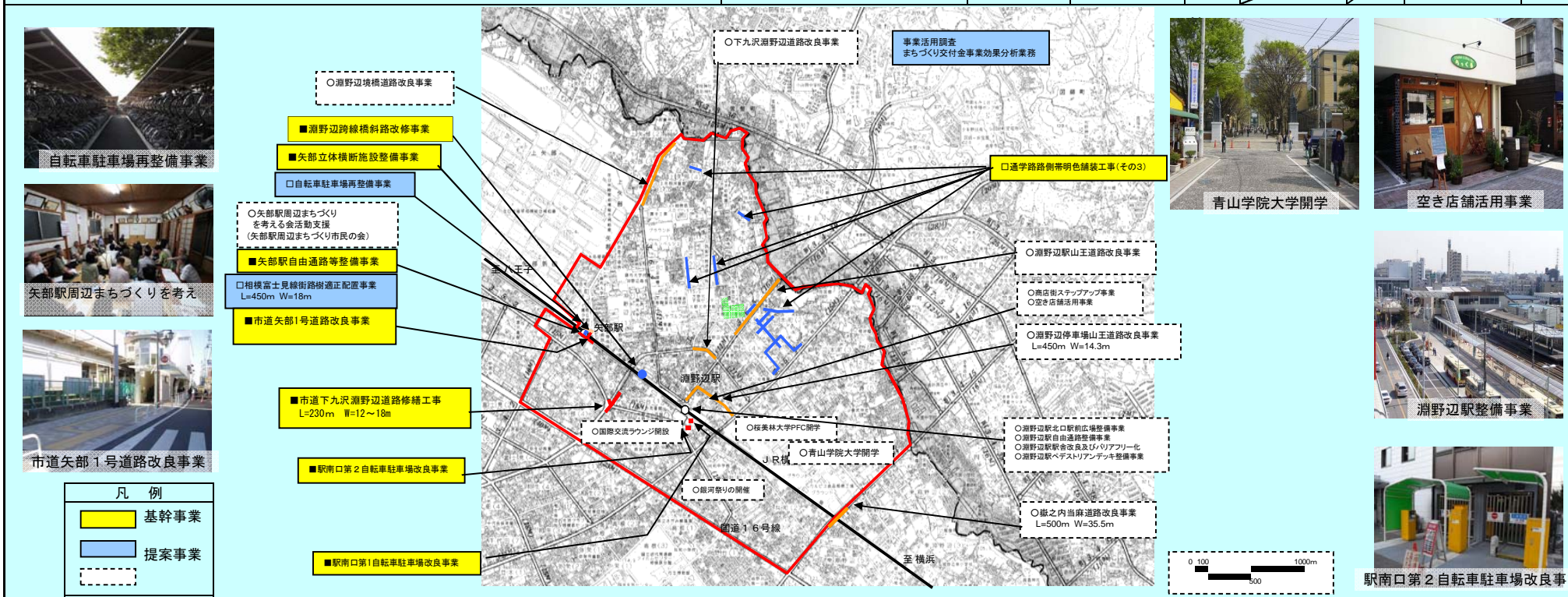
平成23年3月

神奈川県相模原市

様式2-2 地区の概要

大野北地区(神奈川県相模原市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	従前値	評価	目標値	評価	実績値	評価
市民と学生の交流や交通改善による地域活性化と文化と教育の織り成すまちの創造 駅のバリアフリー化や違法駐輪対策による、駅周辺における利便性の向上を図る。 地域資源である学生との協働によるまちづくりの推進による商店街の活性化を図る。 街路の整備やゆとりある歩道の整備などによる地域住民の住環境の向上を図る。	主要駅の乗降客数	単位:人/日	80,420	H16	84,400	H22	89,750	H22
	商店街の来街者数	単位:人/日	30,400	H16	32,300	H22	32,970	H22
	地区内定住人口	単位:人	44,000	H16	45,300	H22	45,430	H22
	まちづくり市民活動開催回数	単位:回/年	7	H16	12	H22	12	H22
	自転車駐車場の改良事業等による利用者数の増加	単位:台/年	419,813	H17			513,960	H22



まちの課題の変化

【当初の課題:改善された事項】

- ①駅のバリアフリー化等による駅利用者の安全性、利便性の向上:矢部駅周辺まちづくり市民の会との協働で、矢部駅自由通路のバリアフリー化が進み、地域住民に理解される施設整備と駅利用者の移動円滑化が図られた。
- ②周辺への大型店の出店などによる地域の小売業の伸び悩み:基盤整備を行うこと以外に、商店街の空き店舗を活用した事業や、ステップアップ事業、および学生との協働などを行うことにより、商店街の来街者の増加が図られた。
- ③地域住民の増加に伴う交通渋滞の緩和に向けた都市基盤の整備:市道矢部1号道路改良事業により、矢部駅前の歩行者空間の確保など、街づくりとしての都市基盤整備が充実した。
- ④歩行者の利便性と安全性の向上を図るための駐輪場対策:自転車駐車場のラック改修、再整備など、利便性の向上を行ったことによる放置自転車等の減少が図られた。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

【効果を持続させるために行う方策】

- ・施設及び自由通路等の利用者事故について安全防止の促進
- ・矢部駅周辺まちづくり市民の会、学生協働や、商店街によるまちづくりの推進
- ・改良済み道路空間の維持管理
- ・自転車駐車場の利用促進及び、路上等への放置防止対策の推進